

# 指導方法等の改善計画について 三原市立第一中学校

## 1 課題と取組について

本年度の結果について
<p>○「取組の成果と課題」</p> <p>①国語では、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題があった。そこで、文章の内容を読み取る際に情報の共通点や相違点等、関係に注目させながら読む指導を行い、結果に改善が見られた。</p> <p>②数学では、三角形の合同条件の理解に課題があった。そこで、三角形の合同条件の指導は、図形と合同条件とを意識してリンクさせる指導を行い、結果に改善が見られた。</p> <p>○「本年度の調査から明らかになった課題」</p> <p>①国語では、封筒の書き方を理解して書く問題(正答率:52.6%)に課題が見られた。</p> <p>②数学では、問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断する問題(正答率:47.4%)に課題が見られた。</p> <p>③英語では、書かれた資料に対して、自分の考えを示すことができる問題(資料が文章の場合の正答率21.1%、資料が案内図記号の場合の正答率0%)に課題が見られた。</p>



課題克服に向けた重点取組
<p>○「全校での取組について」</p> <p>・いずれの教科においても、どの既習事項を用いて判断すればよいか考える内容を取り入れ、考えを記述する場面を設定する。</p> <p>○「授業改善について」</p> <p>①国語において、手紙や封筒、葉書の書き方に関しては、書写の時間や「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の単元を通して、日常生活と結びつけた指導を行う。</p> <p>②数学において、どのような代表値を用いるべきかを判断できるようにするため、教科書等の問題だけでなく、生徒から日常生活の中で発見した課題をあげさせ、解決する活動を取り入れた指導を行う。</p> <p>③英語において、まとまりのある英文の内容理解をしながら、問題点について考え、それについて自分の考えを書く活動を取り入れる。また、英文資料のみならず、英語表現を含む図表の読み取りも意識させた指導を行う。</p>

## 2 本年度の結果(全国)

教科	国語	数学	英語
目標値 (対全国比%)	対全国比 115%	対全国比 115%	対全国比 115%
結果 (対全国比%)	82 (112.6%)	69 (115.4%)	65 (116.1%)

## 3 取組の計画

平成31年度 2学期
<p>【全校での取り組みについて】</p> <p>・指導方法等の改善計画について、経営会議等で確認し、組織的取組を行う。</p> <p>(1)中期計画</p> <p>①定期試験発表中に、全校として各教科の質問教室を実施することで学力補充を行う。</p> <p>②帰りの短学活前に、全校としてセミナー学習の時間を引き続き設け、各教科の復習をさせることで基礎的な学力の定着を図る取組を行う。</p> <p>(2)短期計画</p> <p>①給食準備中に、学力に課題のある生徒には、数学と英語の補充を継続して行う。</p> <p>②家庭学習の充実</p> <p>①自主学习ノートを活用して、自分の課題に意識的に取り組ませ予習や復習など家庭学習の定着を図り、目標と振り返りを毎回書かせることで、主体性と書く力を伸ばしていく取組を行う。</p> <p>【授業改善について】</p> <p>・各教科とも、日常的な授業で、小テストや単元テストを実施し、生徒の課題把握を行うことで、今後の授業改善を行う。</p> <p>①国語において、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する」単元では、既習事項を活用する場面の設定を行うとともに、小テスト等を実施する。また、書写の時間に手紙や封筒の書き方に関する教材を用い、日常生活と関連づけた指導を行う。</p> <p>②数学において、どのような代表値を用いるべきかを判断する内容を、日常生活と関連させて考えさせ、授業内で復習の時間を設けて行う。</p> <p>③英語において、グラフや表などが含まれた英文資料を読んで、それについて自分の意見を書く場面を設ける。意見の書き方の型について指導を行う。</p>
平成31年度 3学期
<p>【全校での取り組みについて】</p> <p>・指導方法等の改善の進捗状況について、経営会議等で確認し、目標達成を意識化した組織的取組を行う。</p> <p>(1)検証計画</p> <p>①標準学力調査平均正答率の全国平均との比較 目標値(1年110% 2年115% 3年115%)</p> <p>②標準学力調査通過率40%未満の生徒の平均上昇率 目標値(5%)</p> <p>【授業改善について】</p> <p>・各教科とも、日常的な授業で、小テストや単元テストを実施し、生徒の課題把握を通じた授業改善を行う。</p> <p>(1)検証計画</p> <p>①年間1人1回以上の授業研究会及び相互参観授業の実施。</p> <p>②課題発見・解決学習の推進を意識した単元開発の実施。</p> <p>・図表と文章の関連性の読解場面設定。</p> <p>・グラフや表を用いた表現活動の場面設定。</p>

## 4 次年度の結果(全国)

教科	国語	数学
目標値 (対全国比%)	対全国比 115%	対全国比 115%
結果 (対全国比%)		

## 5 取組の振り返り

○効果のあった取組
○改善していく取組